

図1 足部の骨・関節

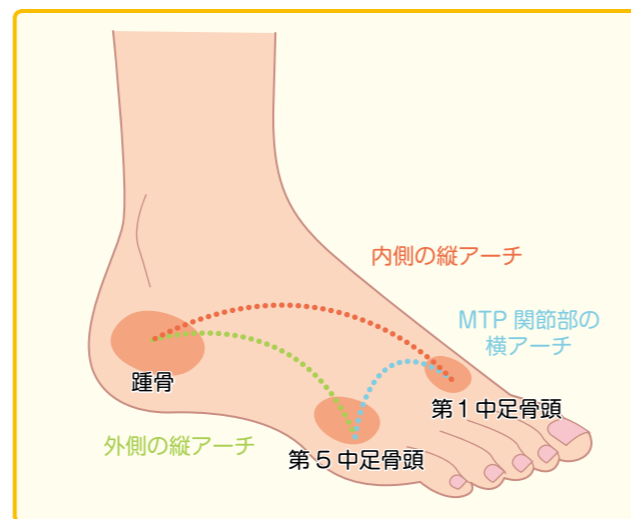


図2 足部のアーチ構造

の3か所で体重を支えており、各々を結ぶ3つのアーチを形成しています(図2)。このアーチ構造が崩れると異常な部位へ圧負荷がかかり、胼胝・鶏眼を形成します。

## 代表的な足変形

### ハンマートゥ (槌趾)

近位趾節間 (PIP) 関節で屈曲、遠位趾節間 (DIP) 関節で伸展する変形です<sup>2)</sup>(図3)。

### クロウトゥ (鉤爪趾)

中足趾節 (MTP) 関節が過伸展し、PIP 関節が屈曲、DIP 関節が屈曲する変形です(図4)。クロウトゥ、ハンマートゥともに運動神経障害から

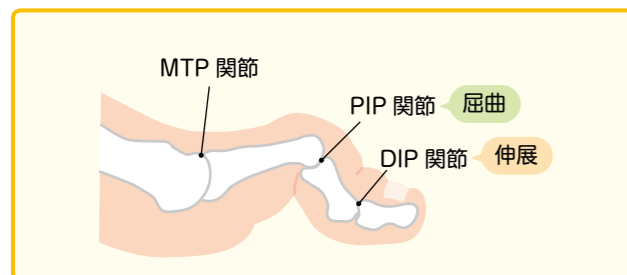


図3 ハンマートゥ

骨間筋や虫様筋などの内在筋が萎縮することによって生じます<sup>2)</sup>。

### 外反母趾

第1趾の中足骨が内反するため、第1MTP関節で基節骨が外反し、中足骨骨頭が内側に突出します。横アーチが破綻し扁平化したために生じる開張足が主な原因で、ハイヒールの着用や第1趾が他の足趾より長いことなども要因といわれています(図5A)。

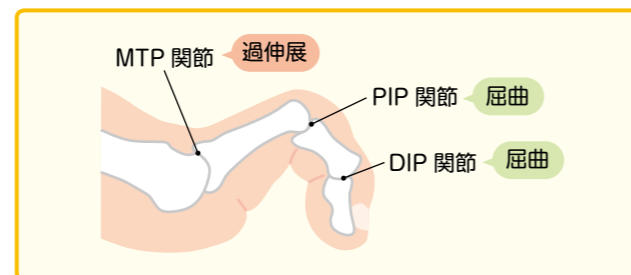


図4 クロウトゥ

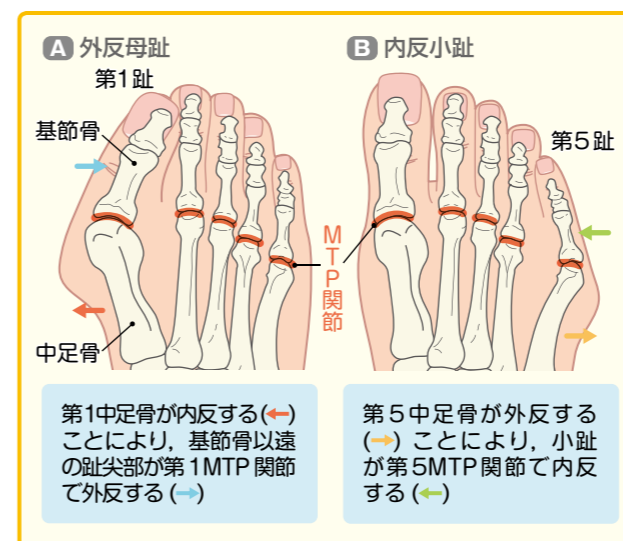


図5 外反母趾・内反小趾

### 内反小趾

第5中足骨が外反、第5MTP関節で基節骨が内反し、中足骨骨頭が外側に突出した変形です。外反母趾と同様、開張足が原因といわれ、外反母趾との合併も多くみられます<sup>2,3)</sup>(図5B)。

### 扁平足

足の縦アーチを支える後脛骨筋腱の機能不全により距骨が内側に落ち込み、足底が扁平化した変

形で、いわゆる「土踏まず」が消失した状態です<sup>3)</sup>。

### 凹足

アキレス腱の拘縮とMTP関節の過伸展が生じたため足底腱膜の緊張が強くなり、「土踏まず」のアーチが強くなり足背部が盛り上がった変形です<sup>3)</sup>。

### シャルコー足

神経障害性関節症をシャルコー関節と呼び、基礎疾患として最も多いのが糖尿病ですが、他に脊髄空洞症、多発性硬化症、ハンセン病などでも生じます。足のいくつかの関節にシャルコー関節を発症した場合や、神経障害による病的骨折を合併した場合をシャルコー足と呼びます<sup>1)</sup>。

動静脈シャントの機能不全に伴う骨や関節の脆弱化や、筋肉、脂肪組織の萎縮によるクッション作用の低下、知覚鈍麻により痛みを自覚せず局所に異常な圧負荷が持続的にかかることから関節の脱臼や骨折を生じ、足が変形します。

急性期では発赤、熱感、腫脹を伴うため、蜂窩織炎などの感染症と間違われることもあり注意が必要です(図6)。



図6 シャルコー足